

2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことの
ために
手を取りあおう

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛
幹事 佐藤 卓立
奉仕プロジェクト
委員会委員長 大平 謹一郎
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和8年2月2日(月) 第20回 通算第1753回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/エフズサンパレス ☎ (024) 523-3899

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第20回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長

◇国歌斉唱

ロータリーソング

「奉仕の理想」

ソングリーダー

高根 典子 会員



◇四つのテスト唱和

佐藤 宗弘 会員



◇お客様並びにビジター紹介

米山記念奨学生 イェブ・シャオティン さん

◇2月分米山記念奨学金 支給

米山記念奨学生 イェブ・シャオティン さん



◇2月誕生祝い

久米 允彦 会員 昭和21年2月13日



◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さま、こんにちは。

2月に入りました。お正月から早くも一か月が過ぎました。

寒さも次第に和らぎ、間もなく春の訪れを感じられる頃となります。この季節、この時間を皆さまと共に楽しみたいと思います。

まず、先週26日に開催されました創立42周年記念例会において、「100%出席例会」を達成することができました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

先週の会長挨拶では、「波風を立てる」というお話をいたしました。

一般的には、静かな水面に波や風を起こすように、本来は穏やかでいたい場に不必要な刺激を与えてしまう、というマイナスのイメージがあります。

しかし、良い意味での「波風を立てる」とは、

- ・停滞した状況に刺激を与え、前向きな変化を促す
 - ・惰性やマンネリを打破する
 - ・必要な問題提起を通じて、組織や人間関係をより良くする
 - ・新しい価値観やアイデアを持ち込み、活性化させる
- といったことを指します。

つまり、あえて静かな水面に小さな波を起こすことで、成長や改善につながる動きを生み出す、というニュアンスです。

今年度も折り返し地点を過ぎ、7月からは寺島会長エレクトの年度がスタートいたします。予定者の時期が最も忙しいかと思いますが、準備、そして助走の段階で何をするかによって一年が大きく変わります。今年度の取り組みが、その一助となれば幸いです。

もっとも、今年度はまだ終わっておりません。

当クラブがホストを務める県北第一分区のインターシティミーティング (IM) が 28 日に開催されます。しっかりと準備を整え、成功裏に終えられるよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本日のプログラムは、イエブ・シャオティンさんによる米山記念奨学生スピーチ、そして黒澤信之会員による米山記念奨学生カウンセラースピーチです。

せっかくのご縁をいただいたことに感謝し、何を思い、何を感じてこられたのかをお話しいただきたいと思えます。

本日は例会後に理事会も開催いたします。盛りだくさんのプログラムとなりますが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

◇食 事

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○お知らせ (例会変更等その他)

●本日、13 時 30 分より 2 月理事会を行います。会場はテルサホール 3F「もちずり」となっておりますので、役員理事の皆さまはご移動のほどよろしくお願いいたします。

●次週、9 日(月)の例会は祝日週の為休会となります。

●次回の例会は 18 日(水)、福島中央ロータリークラブとの合同夜間例会となります。会場は、福島グリーンパレス 2F、開会点鐘 18 時 30 分となりますので、お間違いないようご注意ください。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 委員長



○宮崎秀剛会長

先日の 100%出席例会、ありがとうございました。折り返し地点は過ぎましたが、もう少しだけお付き合いください。

○佐藤卓立幹事

本日のプログラム米山奨学生イエブ・シャオティンさん、黒澤米山奨学生カウンセラースピーチ、よろしくお願いいたします。

○寺島英樹会員

皆さま、風邪にご注意ください。

○高根典子会員

イエブ・シャオティンさんの講演楽しみにしております。皆さま、まだまだ寒い日が続きますので、ご自愛くださいませ。

○佐藤宗弘会員

今月 28 日開催の IM におかれましては、皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

○高橋智弘会員

スピーチ楽しみにしています。

黒澤信之会員 / 佐久間政文会員 / 野尻榮一会員
行形裕司会員 / 西形健吉会員 / 朝倉久仁男会員
佐藤慶行会員 / 大平謹一郎会員 / 高梨哲男会員
久米允彦会員

◇公共イメージ委員会報告

「ロータリーの友」2月号紹介
朝倉 久仁男 委員長



◇本日のプログラム

●米山記念奨学生スピーチ

イエブ・シャオティン さん



皆様、こんにちは。福島大学 4 年のイエブ・シャオティンと申します。マレーシア出身です。本日スピーチのお時間をいただき、誠にありがとうございます。

先ほど会長と、二週間後に奨学生としての修了式があるというお話をさせていただきました。

その話を通して、自分が米山奨学生になってから、もうすぐ一年になるのだと実感し、とても驚きました。この長いようで短い一年の間に、皆さまと多くの活動をご一緒し、楽しい時間を過ごすことができました。今振り返ると、皆さんと深くつながれたきっかけは、野球大会だったのではないかと思います。その時は実は体調があまり良くなく、最初は欠席しようかとも思いましたが、思い切って参加して本当に良かったと、その日強く感じました。

毎月第一週の例会だけでなく、夜間例会やさまざまなロータリーの活動にもお招きいただき、心より感謝申し上げます。福島西ロータリークラブに所属できて

本当に良かったと、いつも思っています。皆さまのおかげで、卒業前に多くの経験を積むことができ、日本文化も精一杯体験することができました。

これからは、4月からの就職に向けて、さまざまな準備を進めていきます。最初は、留学生という立場を離れ、社会人として日本社会に入ることに、不安しかありませんでした。しかし、いつも優しく声をかけてくださった皆さまのおかげで、社会人の方々とコミュニケーションを取ることに、自信を持てるようになりました。将来も、ここでいただいたご縁を忘れず、立派な社会人になりたいと思っています。残り二か月弱となりましたが、三月は私の誕生日でもあります。次回の例会、そして送別会など、最後まで皆さまとたくさんの思い出を作りたいと思います。今後どうもよろしく願いいたします。わたしのスピーチは以上です。ご清聴ありがとうございます。

●米山記念奨学生カウンセラースピーチ

黒澤 信之 会員



本年度、入会以来初めての米山カウンセラーを務めさせていただきました。振り返ってみると、私の入会期間中はイェブ・シャオティンさん以前、稽鐘源さん、レティトゥ ハーさん、蔡騰輝さん、ドーティーハンホアさんと、四人の米山奨学生を受け入れてまいりましたが、各奨学生のカウンセラーをお務めになった会員の皆さんが、親身になって対応し奨学生との間に特別な信頼関係を気づいている姿を頼もしくもうらやましく拝見しており、いつかは自分もカウンセラーを引き受けてみたいと思っておりましたので、今回、お役目を任命いただけたことは大変ありがたくも喜ばしくもあり、期間を通じて楽しく務めさせていただいております。

ご存じのとおりではありますが、シャオティンさんは、日本語が非常に堪能です。その上、いつも笑顔で人懐っこく、好奇心旺盛で前向きで、日本文化や日本人との付き合い方を少しでも吸収しようと常に積極的な気持ちをもって参加してくれています。毎月の例会はもちろんのこと、分区事業や地区事業にも臆することなくいろいろと参加してくれました。時には、カウ

ンセラーの私が参加できないこともあり心配しましたが、誰とでも打ち解け楽しく場になじんでいたとの報告を受けた際には一抹のさみしさを覚えるほどでした。

そのような中で、二人で参加した米山記念館視察旅行は私にとっても初めての参加ということもあり非常に勉強になりましたし、良い思い出にもなりました。送り出してくださったクラブの皆様には改めて感謝申し上げます。

カウンセラーとして彼女にかかわる際に常に心掛けていたことがあります。

一つは日本流の礼儀（マナー）を身につけさせてあげたいという思いです。挨拶の仕方や名刺交換の仕方、テーブルマナーや敬語の使い方など基本的なビジネスマナーについてですが、彼女は基本的に周囲に対する敬意をもって行動しているのですぐに理解し体現してくれていました。

もう一つは、常夏の国マレーシアのご出身ということもあり、日本の、福島の四季の素晴らしさ、美しさを体験させてあげたいという考えです。春には分区行事で新緑の中をウォーキングする機会がありました。秋には紅葉狩りに案内することもできました。あとは冬景色を見せてあげたいと考えていますが、これは残り期間を考えると難しいかもしれません。

卒業研究の提出が終われば、春からは東京での就職が決まっています。彼女は大学で考古学を専攻していましたが、就職先の丹青研究所は、まさに大学で学んだ知識を生かせるような企業で、今後の成長、活躍が期待されるようです。

受け入れ時のオリエンテーションの際、講師の先生は、カウンセラーは日本の親だと思って何でも相談していい関係を築いてくださいとおっしゃっていました。果たして彼女にとって日本のお父さんになれたかどうかは分かりませんが、あつという間の一年、カウンセラーとして楽しく前向きにかかわらせていただきましたことに感謝申し上げます。

◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇会報カメラ担当

朝倉 久仁男 公共イメージ委員会委員長